

調をとることであり、それ以外には無いというのが共通の認識となった。この目的のために事務局の人々及び WMO 本部/IOC 役員の中の幾人かのメンバーから構成された作業部会が作られた。その主たる任務はまず Agenda 21 及び関連の諸会議に対して合同組織としての最初の対応策を準備することであり、IOC 及び WMO の管理母体は勿論、ICSPT (海洋科学プログラムに関する国連内各事務局間の調整機構) 及び UNCED に関連するより広範な国連機関に提言していくことである。この作業部会はおそらくは各事務局の仕事を統合することも含めて、双方のより協力的な関係を模索し、検討することになるであろう。

上で述べたようなことは、勿論、未来に向けてほん

の一步を踏み出したに過ぎ無いし、どちらかというと言官僚的なことと受け取られるかもしれないが、それにも拘わらずその意味するところは極めて重要である。結局、我々気象、海洋学者は基本的には同じゴールを目指しているのである。それは、我々の地球環境が適切に管理されるように、その流体環境の働きを十分に理解することである。この目的を達成するために、WMO と IOC の踏み出した新しい方向に沿って気象学者と海洋学者が真のチームワークの精神をもって努力することが必要であろう。

(IMS Newsletter No 64, 1992 より飯山ユリ, 山形俊男訳)

トヨタ財団1993年度研究助成の公募について

トヨタ財団では、「新しい人間社会の探求」を基本テーマとして、研究助成を行います。特に、次の2つの課題に重点をおいて助成いたします。

- ① 高度技術社会への対応
- ② 多文化社会への対応

斬新な発想による研究計画の応募をお待ちしております。

助成の概要

1. 助成の対象

- ・上記の基本テーマに関する研究で、第I種研究(個人奨励研究)、第II種研究(試行・準備研究)、第III種研究(総合研究)の三つの研究種別があります。詳しくは応募要項をご参照ください。

2. 助成金額・期間

- ・助成金額は合計2億円程度です。
- ・助成期間は本年11月1日より1～2年間とします。

3. 助成の決定

- ・研究助成選考委員会(委員長 飯島宗一)にて慎重厳正に選考の上、9月末の理事会にて決定いたします。

申請手続

1. 応募期間

- ・応募期間は本年4月1日(木)から5月31日(月)(当日消印有効)までとします。

2. 申請用紙の申込み

- ・送料分の切手(後記)を同封し、5月17日(月)までに研究助成係宛てお申込み下さい。(1部:250円, 2～3部:360円, 4～8部:670円)

3. 申請用紙の申込み先

〒163-04 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル37階私書箱236号
(TEL 03-3344-1701)

財団法人 トヨタ財団 研究助成係